

# 小中学校適正規模・適正配置について

**「豊沼小学校」**



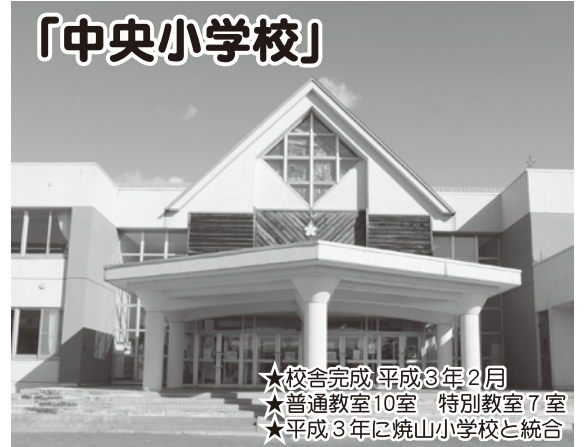
★校舎完成 平成4年5月  
★普通教室9室 特別教室7室  
★平成元年に江陽小学校と統合

**「砂川小学校」**



★校舎完成 昭和48年10月  
★普通教室15室 特別教室9室  
★昭和60年区宮城の沢小学校と統合  
★平成22年度に耐震化大規模改修

**「中央小学校」**



★校舎完成 平成3年2月  
★普通教室10室 特別教室7室  
★平成3年に焼山小学校と統合

**「北光小学校」**



★校舎完成 昭和61年12月  
★普通教室9室 特別教室5室  
★昭和62年に一の沢小学校と統合

**「空知太小学校」**




★校舎完成 昭和63年12月(改築)  
★普通教室10室 特別教室8室  
★平成元年に富平小学校と統合  
★平成22年度に耐震化大規模工事

**「一口メモ」**

砂川市では昭和56年から、小学校10校を5校にする学校整備が行われました。その時は「砂川市学校整備審議会条例」に基づく審議会が設置され、2年6カ月の間に22回の会議を重ね、教育委員会に答申しました。また、市議会も昭和59年2月に「学校整備計画審査特別委員会」を設置し、4回の審議を重ね慎重に決定しています

**「砂川中学校」**



★校舎完成 平成7年3月  
★普通教室12室 特別教室15室  
★平成7年に豊沼中学校と統合

**適正配置計画(案)策定までの経過**

砂川市教育委員会では、平成30年から市立小中学校の適正規模・適正配置の検討を開始。平成30年10月に「意見を聴く会」を実施し11団体(延べ134人)が参加しました。

また、令和元年5月から基本方針(案)に対する「パブリックコメント」を実施し意見は1人1件でした。その後、基本方針が策定されましたが、児童生徒数の推移や国の定める適正規模、通学距離・時間は示されたものの具体的な学校規模、学校数などは令和元年8月に設置された「砂川市立小中学校適正配置計画検討委員会」に委ねられました。

その検討委員会では、現在ある小学校5校、中学校2校を小中各1校に統合し、統合小学校は新設、統合中学校は砂川中学校を活用する。また、小中一貫教育については、「小中一貫型学校」にするか「義務教育学校」にするかなど、かなり突っ込んだ議論を5回の会議で決定。12月25日に小中学校適正配置計画策定に関する提言書を教育委員会に提出しました。

**「適正配置計画(案)の要約内容」**

1. 適正な学校規模の確保  
○学校を統合
2. 適正配置に伴う学校数  
○小学校1校・中学校1校
3. 学校校舎の利用(建設)  
○小学校は新設・中学校は砂中を活用
4. 学校を配置する位置  
○小学校と中学校は近接地に配置
5. 通学手段(支援)の確保  
○スクールバスを導入・運行
6. 関連施策(特色ある学校づくり)の推進
  - (1)小中一貫教育  
○適正配置と並行し導入を目指す
  - (2)地域に開かれた学校  
○学校運営協議会の機能を活用
  - (3)特別支援教育の推進  
○中学校の通級指導教室設置を重点に

**「石山中学校」**



★校舎完成 昭和46年9月  
★普通教室5室 特別教室13室  
★平成22年度に耐震化大規模工事

**「今後のスケジュール」**

学校の統廃合は砂川市の今後の「街づくり」にも大きな影響を与えますし、何より学校教育の根幹となる大切な事です。急がず、しっかりした議論が必要だと考えます。

今後、市教委は提言書をもとに来年度に適正配置計画を策定し、PTAと地域住民向けの説明会を開く予定です。

**市民の声 所属議員**

**小黒 弘**

社会経済委員長  
議会運営委員  
中空知広域水道企業団議員  
砂川地区保健衛生組合議員

**発行にあたり**

砂川市議会では議員一人に対して月1万円の政務活動費が交付されています。「市民の声」は「市民の声だより」を発行し、有効に活用させていただいています。皆さまから読後のご感想、ご意見などいただければ幸いです。